THE BANK OF SAGA
NEWS RELEASE

このまちで、あなたと
佐賀銀行

２０２６年１１月２７日

２０２６年冬のボーナス予想について

佐賀銀行（頭取　坂井　秀明）は、佐賀県内における今年の冬のボーナス支給額について、下記のとおり予想しましたので、お知らせいたします。

記

１．支給総額（予想値）

	２０２６年冬		２０２５年冬	
		前年比		前年比
官公庁	１８０億円	２．８５％	１７５億円	２．３３％
民　間	７４６億円	５．９６％	７０４億円	７．３１％
合　計	９２６億円	５．３４％	８７９億円	６．２８％

※官公庁は５年連続、民間は３年連続の増加。合計は３年連続の増加。

２．１人あたりの支給額（予想値）

	２０２６年冬		２０２５年冬	
		前年比		前年比
官公庁	８７２，６１３円	４．１１％	８３８，１１５円	３．０７％
民　間	３３５，５６４円	３．９８％	３２２，６９８円	３．３２％
合　計	３８１，２７９円	３．６５％	３６７，８３２円	２．７７％

※官公庁及び民間は５年連続の増加。合計は２年連続の増加。
※１．２の表の数値は、単位未満の切り捨て。
※民間の事業所については、従業員数５人以上について予想。

３．予想の根拠

（１）官公庁について

国家公務員および佐賀県職員と佐賀県内市町公務員において、人事院、佐賀県人事委員会の勧告により、今冬の期末･勤勉手当（ボーナス）の支給月数は２．３７５ヶ月（前年比＋０．０２５ヶ月）と想定し算出いたしました。支給対象職員数が減少したものの、月例給が引き上げられたことから、支給総額は前年比２．８５％増の１８０億円、１人あたりの支給額は同４．１１％増の８７２，６１３円と推計いたしました。

（２）民間について

混迷続く中東情勢や長引く物価上昇などの影響が続くなか、県内経済は、個人消費が底堅く推移し、雇用情勢の改善や生産活動の持ち直しもみられるなど、緩やかな回復基調が続いています。また、人手不足を背景とした人材確保の動きや最低賃金の大幅な引上げなど、賃金を取り巻く環境も改善が続いています。このような環境を踏まえ、民間のボーナス支給月数については、１．１７ヶ月（前年比＋０．０２ヶ月）と想定し算出しました。その結果、支給対象人員および所定内給与の増加を背景に、ボーナス支給総額は前年比５．９６％増の７４６億円、１人あたりの支給額は同３．９８％増の３３５，５６４円と推計しました。

以　上

《本件に関するお問い合わせ先》
総合企画部　担当：熊谷
TEL 0952(25)4553
https://www.sagabank.co.jp